

YMCA News

11



「キングを目指して！」

星槎国際高等学校 2 学年

及川 晃洋 (ムシキングリーダー)

僕は、盛岡YMCA向中野センターで高校生ボランティアという形で学童の方に顔を出して、やらせて頂いております。YMCAの方に出始めたきっかけというのは、去年YMCAのわんぱくキャンプにリーダーとして参加させて貰ってから、それ以来学童の方にも時間があれば顔を出すようになりました。

僕自身、何かを習慣つけようとしてもなかなか続かない性質だと自分の事をそう思っているのですが、自分でもなぜ、このボランティア活動がここまで続いているのか、子供が好きだったのかそうでないのかは今でも今一実感がないのですが、ただ、自分が誰かの役に立っていると思うとボランティアではあります。誇らしく思えるようになりました。そう言った意味では僕の中で、この活動は心の支えでもあるのかもしれません。それと同時にこのYMCAを知る、行くきっかけを作ってくれた人、YMCAのリーダーさんには感謝してもしきれないと思っております。自分の中でもこういう経験がなければ自分の本質を知ることや、子ども達との触れ合いを通して色々考えさせら

れるなど、今の様にはなっていなかったと思っています。後はまあ自分が言うのもちょっと変な気はしていますが、子供達の中に自分を省みて良いところ、自分が尊敬する形の様なものがあったら、できるだけ声に出して良い事だよという努力はしています。僕自身の理想ではありますが、一人一人、自分の長所だと認識してそこを伸ばして欲しいなあという意味合いもあり、まあそこまで深く考えこむ事はあまりないのですがね(笑)今回はどちらかと言うと普段の学童メインの話になってしまいましたが、本当はキャンプの事とか、他にもYMCAが企画している行事の事とか書きたい事は山ほどありますが、僕とYMCA、と言う事なのでこの辺で一旦区切ろうと思います。最後に自分の中のリーダー像ムシキング、正にキングを目指してこれからも精進します！



盛岡 YMCA の使命

私たち、盛岡 YMCA は、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

ポジティブネット子ども基金・街頭募金

10月14日(土)にポジティブネットこども基金の活動として、盛岡市内大通りにて街頭募金活動を行いました。ポジティブネットこども基金とは、YMCAのプログラムに経済的理由により、参加したくても参加できない子どもたち(青少年)に対して、費用の一部または全額を基金より援助するプログラムです。一人ひとりが自分の人生を切り拓いていくために様々な機会に参加できることは大切なことであるとYMCAではとらえており、一人でも多くの子どもたちがその様な機械に参加できる援助をしていきたいと考えております。当日は多くの方のお気持ちを頂き、集まった募金は9,592円となりました。

この募金は上記に述べさせて頂いた通り、子どもたち(青少年)への援

盛岡YMCAスタッフ 小川嘉文(さるリーダー)

全日本少年サッカー大会



10月1日から開催された全日本少年サッカー大会岩手県予選へ盛岡YMCAベストキッズのメンバーが参加してきました。6年生にとっては小学生年代で参加する最後の公式戦となるため、いつも以上に緊張しているかと思いきや、試合が始まる直前までみんな笑顔だったので、緊張していた私がみんなを励ますどころか、励まされました。結果は2回戦敗退という結果でしたが、最後まであきらめずに走り、ベストキッズの目標である“自分たちのサッカーをして思いっきり楽しむ”ということを体現してくれたように思います。これで6年生は公式戦こそありませんが、引退ではありません。YMCAベストキ

助のために使用させていただきます。皆様のあたたかいご支援、誠にありがとうございました。

また、11月1日～3月31日の間は国際協力募金期間となっており、11月23日には毎年恒例の国際協力街頭募金活動を盛岡市内大通り各所で行う予定です。頂いた募金は、海外での災害時支援、難民支援、コミュニティ支援、子ども育成支援などに充てさせていただきます。皆様のご支援が、一人でも多くの方の助けにつながっていく様、今後もYMCAは様々な募金活動を行ってまいります。ご協力・ご支援の程宜しくお願い致します。

ZZは他のチームより特化していることとして、様々な小学校からメンバーが集まり、一緒にサッカーをすることでサッカーはもちろんの事、リーダーを含め、関わっている仲間の事が大好きでとても仲がいいことが挙げられます。私自身ベストキッズの卒団者として今でもベストキッズが好きですし、出会えた仲間たちと今でも強く繋がっています。キャプテンも今回の大会を終え、代替わりとなります。その年その年によって、いるメンバーも違うので、チームの雰囲気や空気感こそ違いますが、ベストキッズというチームの核となる「強く・たくましく・頼もしく」というところだけは絶対にぶれることなく、もっともっとワクワクさせてくれるチームになります!日々サッカーを楽しみ、仲間と笑い合い、高め合っていくことのできるベストキッズにこれからもなっていくますので応援よろしくお願ひ致します。

盛岡YMCA ベストキッズ担当スタッフ

向平 悟(Gランリーダー)



9月 アドベンチャー 活動報告

こんにちは!マックです!9月16日から18日に2泊3日のアドベンチャークラブが行われました。1日目は「七滝」を見に、みんなで山を登りました。決して楽ではない道でしたが、低学年の子も全員が到着することが出来ました。そして「七滝」を見た子たちはほとんどん広がついて滝に感動したり、滝に向かって「来年も絶対来るぞ」と誓いを立てたり、多くのことを感じてくれた様でした。帰り道は、葉っぱを沢山身に纏ったり(笑)「子どもたちだけで♪」「ハレルヤ♪」と元気一杯歌ったり、とても楽しい時間を過ごしました。夜ご飯はカレーライスをグループ毎に作りました。薪割りから火付け、野菜切りなどやらなければいけないことは沢山ありましたが協力して行いました。「薪が足りない!」そんな時に活躍してくれた「枝拾い部隊」。火付けにはまる子などなど。野外炊事ならではのたくさん楽しめました。夜のナイトプログラムではジェスチャーゲームをし大盛り上がりしました。2日目の午前にはビンゴゲームを行いました。グループ毎にビンゴのマスに書くものを自然を探検しながら見つめ、グループの個性が溢れるビンゴが完成しました。昼食後はキャンプファイヤーをしました!お昼にキャンプファイヤー!?そんなこと関係なく、初めにグループで息を合わせないと出来ない手遊びをしたり、進化じゃんけんというゲームで、みんなで最後に「神」になって踊ったり楽しい時間を過ごしました。



たが協力して行いました。「薪が足りない!」そんな時に活躍してくれた「枝拾い部隊」。火付けにはまる子などなど。野外炊事ならではのたくさん楽しめました。夜のナイトプログラムではジェスチャーゲームをし大盛り上がりしました。2日目の午前にはビンゴゲームを行いました。グループ毎にビンゴのマスに書くものを自然を探検しながら見つめ、グループの個性が溢れるビンゴが完成しました。昼食後はキャンプファイヤーをしました!お昼にキャンプファイヤー!?そんなこと関係なく、初めにグループで息を合わせないと出来ない手遊びをしたり、進化じゃんけんというゲームで、みんなで最後に「神」になって踊ったり楽しい時間を過ごしました。

そしてキャンプファイヤーでは歌って騒いで盛り上がりました。その後3日目にスタンツ大会が行われるという発表がされグループ毎にわいわい、時に真剣に、準備や練習をしました。3日目のスタンツ大会ではとにかく、グループの個性が溢れる発表となりました。低学年の可愛らしく元気一杯の発表、高学年の笑いの要素が一杯詰まった発表や、全体を巻き込んだ楽しいゲーム、また、グループの垣根を超えた発表、大盛り上がりでした。今回のアドベンチャークラブでは、子どもたちの輝いている顔がたくさん見られました!リーダーたちはいつも自分の中「挑戦したいこと」を持って活動にきています。だからへこむこともあるんです(笑)だけどこの繰り返しでどんどんいい活動になっていくんだと強く感じたアドベンチャークラブでもありました!!!



さん見られました!リーダーたちはいつも自分の中「挑戦したいこと」を持って活動にきています。だからへこむこともあるんです(笑)だけどこの繰り返しでどんどんいい活動になっていくんだと強く感じたアドベンチャークラブでもありました!!!



岩手看護短期大学3年 鬼柳琴

リーダー研修会

今回、10月7日から9日にかけて広島で行われた、第48回全国YMCAリーダー研修会に参加させていただきました。今回の研修会では全国23のYMCAから82名のリーダーが参加し、研修会では小グループに分かれ、リーダーシップの理論などについて学び、ディスカッションを行いました。三日間の研修会は、初めて会った人たちと寝食を共にし、様々な話をする中でお互いの理解が深まり良い関係になっていったと思います。

また、新しいブランドコンセプトである「みつかる。つながる。よくなっていく。」について考える時間もあり、私は今回の研修会で、新しくリーダーたちと“つながる”ことができたと思います。そして、たくさんの人たちと関わる中で、私は改めて盛岡YMCAの「君でいいんだよ」という言葉が、いいなと思いました。私は初めて会う人とは緊張してしまい自分を出しきれないことがあります。今回は最初は消極的になってしまうことがありましたが時間が経つにつれ、徐々に

こんにちは!チーズです。私から全国YMCAリーダー研修会について報告させていただきます。10月7日(金)～9日(日)の3日間、広島県で「みつかる。つながる。よくなっていく。」のテーマのもと、リーダーシップについてや子どもたちのかかわりなど様々なことを学んできました。全国のリーダーたちと過ごした3日間は私にとって毎日が刺激的でとても有意義な時間となりました。

「盛岡YMCAってどんなところ?」そう聞かれたときに、リーダーやスタッフ、そして子どもたちのことを思い浮かべながら話している自分がいました。きっとこの質問をされたときにどのリーダーも自然と同じように浮かび上がってくるでしょう。改めて、盛岡YMCAが大好きだと実感できたことを、初日の夜は全国のYMCAのリーダーと1日目の内容を振り返りそれぞれのYMCAの活動について話しました。私とは違った視点から子どもたちをみているリーダーや、たくさん試行錯誤しながら活動をしているリーダーがいました。どのリーダーたちも同じような悩みや葛藤を持っているんだと感じました。

2日目は夜にでキャンプファイヤーをしました。キャンプファイヤーは知らない遊びもあり、新鮮で楽しかったです。最終日は、自分たちのYMC Aの伝えたいことを発表し合いました。どここのYMCAも思いを持っていて私たちも負けてられないと、気持ちを込めて言葉であらわしました。そんな3日間のうちで1番印象に残った言葉があります。それは、「最初の一人になる勇気はあるか」という問いです。

地球市民育成プロジェクト2017

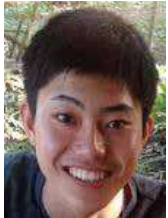
8月29日(火)から9月4日(月)にかけて、盛岡から一歩踏み出して世界中の友たちと実りある一週間を過ごせた。今年の地球市民育成プロジェクト(Global Citizen Project)に参加する盛岡Yのリーダーは私、「どうしてもいろんな心配や不安でたまらなくてとりあえず行ってみないとどうしようもならない!」という気持ちでGCPに参加してきた。

今年もYMCA東山荘で行われ、日本国内外の研修生を合わせ、33人の研修生だった。宿泊研修に参加する1か月前に事前研修があり、世界中の人々が抱えている様々な問題から関心の持つ課題について問題への意識や自分の考えをテーマにし、レポートにまとめて提出した。あとは宿泊研修の到来を待つだけだった。研修期間中は基本的に英語でコミュニケーションをとってほかのメンバーたちと意見交換したり、気づきなどをグループメンバーと話し合い、意見を分かち合い、他人の考えを聴きあったりお互いに学ぶ良い機会だった。

1日目は国内研修生向けと海外研修生向けのオリエンテーションが分けて行われた。次の日はいよいよGCP本番!二日目は、開会式を行い、ホームグループで簡単な自己紹介してお互いのことを知ろうというプログラムだった。そして、「世界がもし100人の村だったら」というワークショップで、何億万人も住んでいるこの地球を100人の村落におさまるとどうなるかイメージをするためみんなと簡単なゲームをした。夜はお待ちかねの歓迎会!一緒にご飯を食べ、ゲームをし、ダンスを踊ったりし会場全体を盛り上がった。この日以降私は、みんなといっぱい話せて仲良くできて幸せだった。3日目は現地学習で、川崎ふれあい館と横浜寿町に行った。川崎ふれあい館の歴史や在日コリアンの人たちのことをたくさん知り、更に横浜寿町では当地の人々は日々どんな生活を送っているのか自分の目で確かめる事が出来た。そこでは自分の頭の中にある日本のイメージとはまた違う風景が目に入って正直にショックを受けた。

お互いを知ることができ自分を出していくことができたと思います。「よくなっていく」ということを考えた時に、私はありのままの自分であることが大事なのではないかと感じました。人とつながりよくなっていくためには自分を知ってもらい、相手を知ることが大切だと思います。そして知ってもらう「自分」はありのままの自分であればより深い関係性になっていくと思います。「君でいいんだよ」という言葉が消極的だった自分の背中を押してくれたような気がします。

今回の研修会で学んだこと、感じたことを盛岡のリーダーたちに、少しでもよくなっていくきっかけになったらいいと思います。最後に、今回研修会に参加させていただくにあたり、たくさんの方々にご支援いただきました。貴重な機会を与えてくださったことに感謝いたします。



岩手県立大学3年 伊藤陸(ショッカーリーダー)

この問いに私はすぐに返事は出ませんでした。でも何か決断をする時に少しだけ背中を押してくれるそんな言葉だと同時に思いました。プログラムを考えるときミーティングではそれを共有して意見を出し合いまた考えての繰り返しというのがよくあり、今年の夏キャンのミーティングでもそんな場面がありました。その持ってきた考えに対して一番初めに声を発し意見をいう。それがたとえ他の人とまったく違うものだとしても最初に言える勇気の強さを改めて考えることが出来ました。全国リーダー研修会の場合は、間違いなんてない、どんなことにも挑戦してみようという雰囲気が自然と流れていたと思います。まさに「君でいいんだよ」と言われているようなそんな温かい場所でした。出来ないからやらないではなく、見てくれているみんながいるからやってみる!というようにリーダーとしても子どもたちに向けてでも私自身これから伝え、挑戦していきたいことだと強く思いました。

最後に今回の全国YMCAリーダー研修会に参加させていただけたことに感謝します。ここで学んだことをこれからの活動に活かしていけるよう、盛岡YMCAのリーダーとしてまだまだ挑戦していきたいと思います。



盛岡大学3年 小野寺保乃香(チーズリーダー)

4日目の朝は現地学習で気づいた事や感想などをグループで共有し、そして午後はマレーシアを例として現在の社会構造について開発教育協会DEARの方に語ってもらった。5日目はアクションプランの準備。アクションプランは事前研修の時に取り上げたテーマに基づいて研修中に学んだことや他人と共有した意見などを活かして関心を持つ課題とどうやって関わっていくかプランを立てて行動宣言をすること。最初はどこから手を付け加えたらいいのか全く分からなかったが、チューターとスタッフの指導の下で自分のアクションプランを完成させた!次の日はいよいよアクションプランの発表会!アクションプランの準備はかなり大変だったが、みんなはこの日のためにすごく頑張っていた。大勢の人の前で話すのは少し苦手だが、最後まで発表を無事に成功させることが出来て嬉しかった!その後の閉会式では、仲間と離ればなれになる現実に我慢できず号泣してしまった。その夜のフェアウェルパーティーで、それぞれの国の民族衣装を着たり、歌やゲームを教えたり最後の夜を楽しんだ。

GCPに参加する前に、ほかのことはどうでもよく自分のことだけを精一杯考えれば十分だという考えがあった。しかし今回参加してきて、一つのことに気づき、GCPはまるで私の人生の分岐点の一つでもあり、人生が大きく生まれ変わった。これまで自分の関心のなさで周りに多くの素敵な物事や出会いを見逃したかもしれない。これをきっかけにして今回のGCPも何かに仕組まれていたかのようにこんなに素敵な仲間たちと出会うことを信じ、国籍や言語は一切関係なくつながり、世界中の人々と友たちができて本当に感謝している。これからも悔いのないようにいろんなことに挑戦していきたい、世界中の人々と仲間になる!



岩手大学2年 オンホーイン(めんぼーリーダー)

君でいいんだよ ～ JUST THE WAY “YOU” ARE④～

「願う」

先日、盛岡YMCAのサッカー大会が岩手県立大学で開催された。東日本大震災被災地復興支援事業の一環で、毎年宮古のサッカースクールの子どもたちも参加している。朝8時に出発して片道2時間かけて会場のある滝沢市に向かう。トイレ休憩で道の駅に寄ったところ、小学3年生のAくんが話しかけてきた。

3年生ともなると一筋縄ではいかない。世に言うギャングエイジと呼ばれる年代だ。大人が指示を出したり、物事を頼むと大概「ヤダ」という答えが返って来る。かつて、これが本当の意味での拒絶ではなく、「それで?」というニュアンスあることを理解するのに、何年かの月日を要したことを覚えている。

「ねえ。濱ちゃん」

※僕は子どもたちから濱ちゃんと呼ばれているのだ!!

「持ってきたお金で何か買っていい?」

「さとちゃんに聞いてごらん」と答える僕。

※さとちゃんは、YMCAのスタッフで宮古のサッカースクールのコーチをしている。

「ふーん、そうか。さとちゃんはダメって言ったんだけどね。」

おやおや、さとちゃんに断られて今度は僕からの許可を求めてきたんだな。

「ディレクターのさとちゃんがダメって言うんだからダメじゃないの?。」

「……………」しばらく考えてAくんは、今度はこう切り出してきた。

「あのさあ、お家の人からお土産買って来てほしいって言われたんだ。」

「へえ。じゃあ、お金預かってきたの?」

「……いや。おみやげ買ってもらったら嬉しいな。と言われただけなんだ。」

自分の願い事を叶えるために、彼は頭の中のコンピューターを最大限に活用して、挑んで来るのだが、最後の詰めの部分で正直さを露呈するのがなんとも微笑ましい。なにより、小さな願い事を叶えるために一生懸命考える姿が可愛らしかった。同時に、僕たち大人は、チャレンジする以前に大抵のことを諦めてしまっていることに気づかされた。

トイレ休憩が終わり、バスが出発した。A君の関心は、もう他のところに飛んでいってしまったようだ。さとちゃんが行うクイズ大会に熱中していた。

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい、そうすれば開かれる。」

(新共同訳聖書 新約聖書

マタイによる福音書 7章:7節、8節)

盛岡YMCA総主事 濱塚有史

ショッカーもフィリピンで考えた～最終章～

「豊かさ」とは一体何だろうか。これは私がフィリピンに行って一番心にのこったことである。

フィリピンでの生活は、日本の生活に慣れきった私にとっては不自由なものだった。しかし、現地で出会った人たちは、不自由そうな様子はなく幸せそうに、豊かに暮らしているように見えた。私にとってこれは大きな驚きであり、豊かさとは何かについて考えるきっかけとなった。

私が、彼らが豊かだと感じたのは、自由に楽しそうに暮らしている姿を見たからだ。日本に暮らす私たちがそうでないというわけではないが、彼らを見て心豊かのように感じた。そう見えた理由の一つとして、私は人と人の結びつきが強いためであると考え。人とのつながりが密接で、良い関係性を築けているため心に余裕があるのではないかと感じた。私が訪れた地域の家庭と家庭の距離は近く、お互いを支えあい生活をしていた。

特にも印象的だったのは、ホームステイ先の家に他の家の子が普通に出入りし、ホストマザーもその子に対して、自分の子どものように接していたことだ。

また、子ども達も年齢に関係なく親しく遊んでいる様子が伺えた。



私はフィリピンでの生活を体験し、改めて日本での生活が豊かな環境にあると感じた。当たり前のことが当たり前でなくなつてから気づいたことである。これは今ある人間関係にも同じことが言えるのではないだろうか。家族、友人、YMCAの仲間、普段何気なく一緒にいる人関係が当たり前にあるものだと感じてしまっている自分がいる。だからこそ、今おかれている環境に感謝し、つながりを今まで以上に大切にしていこう必要があると思う。

豊かさは人それぞれの価値観で変わってくる。だから価値観、考え方の違いを踏まえ考える必要がある。だが共通する豊かさもあるのではないか。その豊かさは何か、本当の豊かさとは何か、考えてみたがはっきりとは分からない。だが、フィリピンに行って感じたように少しでも豊かになるきっかけとして、人との繋がりをこれまで以上に大切にしていきたい。

岩手県立大学3年 伊藤陸(ショッカーリーダー)



いざ、ネパールへ

それは本当に突然の話でした。

「家村、ネパール行って来い!」「…。ネパール?!」

実はその少し前に、YMCAの活動のミーティングで内丸教会関係者の方と話をしている際、その方たちがネパールへ行くということを聞きました。過去に2度フィリピンへワークキャンプに行かせてもらってから、外国を訪れ、異文化と触れ合うことの楽しさを知った私はネパールがどのような国なのか話を聞きながら、行ってみたいという好奇心を抱いていました。その方たちも誘ってくれたのですが、その時は日々の担当プログラムがあるため、実際に行くことになるとは微塵も思っていませんでした。そんな中の「行って来い!」。

はじめは混乱しましたが、良い機会だと言って私の持つプログラムを調整し、協力してくれるスタッフの方々や、その他の面でも支援していただいた方がいたか

らこそ、今回私はネパールを訪れることが出来ます。送り出してくれたことに心から感謝しています。

今回の渡航では、いくつかの農村部を回り交流を図ったり、障がい児施設を訪問したりする他、ネパールのYMCAも訪れます。世界にあるYMCAを知り、それを日本・盛岡に帰ってきて伝える。

また、盛岡YMCAをネパールへ伝える。大きなことをやっていかなくても、世界の中の日本の中に盛岡という場所があることを知ってもらえたら十分です。そうやって、世界とのつながりを少しずつ広げていけるよう、私は行ってきます。

盛岡YMCA 家村知佳(しろくまりーダー)



表紙の写真から



10月14日(土)

ポジティブネット子ども支援募金の街頭募金が行われました。

子どもたちを取りまく貧困の課題にYMCAは取り組んでいきます。

茨城へ

みなさんこんにちは。サッカースクール・水泳教室・野外活動を担当している伊藤眞太郎(ひげたまご)です。

みなさん突然ですが、YMCAって盛岡以外にもあることをご存知でしょうか?実はYMCAは世界120を超える国と地域に広がる国際団体で、日本では北海道から沖縄まで211の拠点を活動しているんです。東北には仙台と盛岡にしかないのはちょっと寂しいですね。そんな全国に広がるYMCAの中、北関東にある「茨城YMCA」に11月より1ヶ月間研修へ行くことになりました。みんなと会えない1ヶ月はちょっと寂しいですが、他のYMCAの歴史や文化に出会い、触れることができることは今から楽しみに

みです。

1ヶ月という限られた期間ですが、出会いを大切にしながら、たくさんの気づきをみつけ、同じ想いをもった仲間と語り合い、つながり、「盛岡YMCA」がより目の前の人達や地域・社会の悲しみや喜びに寄り添い、たくさんの人たちと共に歩んでいくためにも、しっかりと学び成長して帰ってきたいと思います。

そして、違いを超えてつながり、互いが互いを尊敬し合える、そんなYMCAを私たちはこれからも創り出していきます。期待しててください。では、行ってきます。

盛岡YMCAスタッフ
伊藤眞太郎(ひげたまごリーダー)